

特定非営利活動法人全国女性会館協議会  
「地域における男女共同参画に関する研修事業」参加者アンケート集計

公益財団法人日本女性学習財団  
2014年10月8・9日実施

事業名	情報事業担当者支援講座 ー情報事業をコーディネートする！ー
参加人数	10月8日(水)13人 10月9日(木)18人
アンケート結果 (回収15件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度について ①大変満足(7人) ②満足(8人) ③やや不満(0人) ④不満(0人)</li> <li>・目的達成度について ①達成した(5人) ②ほぼ達成した(9人) ③やや達成できなかった(0人) ④達成できなかった(0人) NA(1人)</li> </ul>

事業についての感想

- ・ 講義やワークショップの中で、“そうそう”ということが多々あり、そこからどのように工夫されて改善、成功されたかなど、非常に細かな点まで教えていただいたのがよかった。
- ・ 図書館のイメージが「いろいろあっていいんだ」と、目からウロコだった。
- ・ それぞれのご専門分野の方々から、プロならではのお話が伺えました。またお話からアイデアやひらめきがたくさん湧いてきた。
- ・ 多彩な内容でそれぞれに気づきがあった。
- ・ クレヨンハウスなどの書店見学はとても参考になった。現場を巡ることは大切だ。そこで働く方々から意見が直接伺えることはとてもよかった。
- ・ 日頃、感じている課題を整理することができた。また、書店見学からは、センターの役割や方向性、今、すべきことを見出すことができた。
- ・ ワークショップでさまざまなアイデアを得られ、書店の工夫を実際に見ることができた。
- ・ 選書して棚に並べることの大切さ、ミッション・ビジョン・立案することの大切さなど、改めて認識した。
- ・ 人数もちょうどよく、話がしやすいと思った。図書館員としてもいろいろと学ぶことがあった。
- ・ 原点を確認することや、筋道の立て方など、参考になった。
- ・ センターの改善点、課題が明確化した。
- ・ 目からウロコの提案の数々で、分かりやすい研修だった。
- ・ 普段のつながりのない人たちと、交流や意見交換ができたのがよかった。
- ・ 他の施設が抱える悩みを共有し、それに対する意見を出し合えた。
- ・ (この研修には) ①情報とは何か、②情報事業の現状、③何のための、誰のための情報事業なのかを考える必要。この3点がすべて含まれていた。
- ・ 帰ってすぐにできる工夫が見つかった。
- ・ まず何から手をつけたらよいかわかった。
- ・ “〇〇がないとできない”ということは、“工夫などでできることもある”と実感できた。
- ・ 情報担当者は日頃の思いや課題を共有しにくい状況にあるので、「情報」の分野がアクティブになるために、このような研修が必要だと思う。

